

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341101	保育内容（表現）音楽の指導法	桂山 たかみ			1	必修	2後期
科目の概要							
<p>本授業ではDP1,3,5に基づき、子どもの感性と表現力を育む「音楽活動」について、理論と実践の両面から学びます。特に、身体表現、伝承遊び（手遊び・わらべうた）、リズム表現（打楽器遊び）の3領域を中心に、発達段階に応じた指導方法を体験的に習得します。さらに、音楽活動の題材選定から指導案作成、模擬保育までを一連の流れで行い、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践しながら、保育現場での実践力と子どもの主体性を引き出す援助力を養います。保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、保育士・幼稚園教諭に不可欠な専門的知識・技能を身に付けるとともに、建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けることを目指し、保育者としての表現技術の向上も図ります（DP1,3,5）。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 手遊び、わらべうた、身体表現、打楽器遊びの各領域における理論と実践を学ぶ。 ② 乳幼児の発達段階（0歳児から5歳児）に応じた音楽活動の目的と方法を理解する。 ③ 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく音楽活動の指導案作成法を習得する。 ④ 模擬保育の実践を通じ、保育者としての援助、環境構成、及び自己省察の能力を養う。</p>				<p>① 幼児の発達段階に応じた音楽活動（手遊び、わらべうた、身体表現、打楽器遊び等）の目的と方法を理解し、理論的に説明できる。 ② 保育所保育指針等に基づき、手遊び・身体表現・打楽器遊び等を用いて、子どもが主体的に音楽を楽しむ環境を構成できる。 ③ 音楽活動の指導案を作成し、保育者としての援助や環境構成を意識して模擬保育で実践し、自己省察することができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	音楽技術の習得（手遊び、身体表現、楽器演奏等）のために、自ら進んで練習に取り組む。					
	働きかけ力						
	実行力	指導案作成や模擬保育において、困難な課題があっても最後までやり遂げる。					
考え抜く力	課題発見力	予習・復習を通じ、自身の技能や指導案の改善すべき点を見極める。					
	計画力	子どもの発達段階に合わせ、論理的な指導案を構成する。					
	創造力	既存の枠にとらわれず、子どもの感性を引き出す新しい遊びや環境を考案する。					
チームで働く力	発信力	模擬保育での相互評価において、自分の意見を明確に伝え、他者の意見を尊重して聞き入れる。					
	傾聴力	他者の考え方の要点を理解し、自身との相違点を尊重することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力	グループワークや合奏において、周囲の状況を察知し、協力して活動を推進する。					
	規律性	社会人としての基本である時間厳守や、授業のルールを遵守する。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：木村鈴代「新 たのしい子どものうたあそびー現場で活かせる保育実践ー第二版」同文書院 参考文献：保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>「保育内容（表現）音楽の指導法」は、「音楽技術Ⅰ・Ⅱ」「保育内容（表現）」で獲得した知識・技能を活用する。 資格との関連：幼稚園教諭一種免許状、保育士資格</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
<p>実技や演習（手遊び、身体表現、打楽器遊び）には、単なる受講者ではなく、将来の指導者としての意識を持って積極的に参加してください。 予習や振り返りにおいて、NotebookLMなどのツールを活用し、知識を整理・深化させることが推奨されます。</p>				<p>授業開始時刻に遅れず出席すること。 実技や模擬保育に必要な教材、楽譜などは、事前に不備なく準備して臨むこと。</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①						
				②						
				③						
	平常評価	小テスト		0	①					
					②					
					③					
		レポート		30	①	✓				【獲得】保育内容（表現・音楽）に関する基礎理論を理解し、幼児の発達段階に応じた音楽活動の目的と方法を理論的に整理できる力を獲得する。（40%）
					②	✓				【活用】指導法や音楽活動の構成に関する学修内容を、自身のレポートに的確に反映し、理論を実践に結び付けて表現できる力の活用ができる。（40%）
					③	✓				【解決】課題テーマに対して多角的に考察し、根拠に基づいて論理的にまとめることにより、教育的課題を明確化・解決する力を育成する。（20%）
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①	✓			【獲得】音楽表現活動や指導案作成に必要な知識・技能を確実に身に付け、保育実践の基盤となる理論を自覚的に理解する。（40%）			
			②	✓			【活用】学修した理論と技法を基に、模擬保育や音楽表現活動において、子どもの主体性を引き出す指導法を創造的に展開できる。（40%）			
			③	✓			【解決】発表や実技を通して生じる課題を主体的に改善し、表現方法や指導意図を自ら検討・修正しながら、より良い実践へ導く力を示すことができる。（20%）			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			【主体性】授業や模擬保育に積極的に取り組み、自ら学びを深めようとする姿勢を示していること。			
			②	✓			【実行力】立案した指導案や表現活動を責任を持って実施し、目標に向かって粘り強く行動する力を発揮していること。			
			③	✓			【課題発見力】学修や実践の過程で課題を自ら見だし、解決に向けて探究心をもって取り組んでいること。			
							【計画力】学修内容や発表準備などを見通しをもって進め、時間配分や段取りを的確に行っていること。			
				【創造力】音楽活動や保育実践において、独自の工夫・表現・発想を取り入れ、新たな価値を創り出していること。						
				【発信力】自らの考えや表現意図を明確に伝え、発表や協働の場で他者と理解を共有できていること。						
				【傾聴力】他者の考え方の要点を理解し、自身との相違点を尊重することができること。						
				【情報把握力】教材や題材に関する情報を正確に把握し、目的に応じて必要な知識を活用していること。						
				【規律性】授業への参加態度や提出物の管理など、学修上の基本的なルールや約束を守り、責任ある行動を取っていること。						
総合評価割合			100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)・A(優)：表現リズム遊びや器楽合奏の知識・技術を修得し、子どもへの実践が極めて優秀または優れている。自ら進んで学ぶ姿勢が顕著である。	B(良)・C(可)：基礎知識・技術を修得しており、指導案作成や実技を最後まで遂行できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 領域「表現」のねらいと、乳幼児期の音楽発達のプロセスについての理解 ・授業準備におけるNotebookLMの活用について(教材の理解深化および情報整理)	講義 NotebookLMを適宜活用	領域「表現」の目的を理解する。	(予習) 領域「表現」について調べる。 (復習) 授業で扱った曲や基本方針を整理して覚える。	45	課題発見力 傾聴力 規律性
2	・手遊び・歌遊びの理論と実践 ・手遊びの教育的意義 季節感、言葉あそび、リズム感、心のつながり、手指の器用さ等について考える。	講義・演習 グループワーク	基本的な手遊びの技術を習得する。	(予習) テキストの手遊びに関するページを読み込む。 (復習) 習った手遊びの技術(視線や声のトーン)を練習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	・わらべうたと伝承遊び 日本の伝統的なわらべうたを体験し、集団遊びへの展開方法を学ぶ。 ・手遊び(場面別・年齢別分類の理解)	講義・演習 グループワーク	活動の構成と流れを理解する。	(予習) 季節の歌を調べてくる。 (復習) 構成したリズム活動の流れを暗記するまで練習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
4	・身体表現の基礎①(即時反応) 音楽を聴いて動く・止まるなどの基本動作と、即時反応の指導法。 ・手遊び(乳児向け:ふれあいの習得)	演習 グループワーク	伝統的な遊びの教育的意義を理解する。	(予習) 身体表現(即時反応)の概念について調べる。 (復習) 音楽に合わせた基本動作がスムーズにできるよう反復する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
5	・身体表現の基礎②(リズム表現) 拍子やリズムパターンの違いを身体全体で表現する活動の構成。 ・手遊び(幼児向け:言葉・数・想像力の習得)	演習 グループワーク 発表	音楽に合わせた基本動作ができる。	(予習) 身体表現(リズム表現)の概念について調べる。 (復習) 拍子やリズムパターンの基本動作がスムーズにできるよう反復する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
6	・3歳未満児の音楽活動 感覚的な音楽体験、音の出るおもちゃ、保育者と子どもとの情緒的交流。 ・手遊び(活動の導入としての活用法)	講義・演習 グループワーク	3歳未満児への適切な情緒的交流を理解する。	(予習) 3歳未満児期の音楽発達プロセスについて調べる。 (復習) 3歳未満児期の情緒的交流の方法をまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 状況把握力 規律性
7	・打楽器遊び①(楽器の特性) カスタネット、スズ、タンバリン等の正しい奏法と管理、音色の違いを知る。	演習 グループワーク 発表	各楽器の正しい奏法と管理を覚える	(予習) 各種打楽器の特性を調べておく。 (復習) 各楽器の正しい奏法と安全な管理方法を復習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 状況把握力
8	・打楽器遊び②(合奏の基礎) リズム打ちの指導、複数楽器でのアンサンブル、指揮の出し方を学ぶ。	演習 グループワーク ディスカッション 発表	簡単な合奏を他者と合わせられる	(予習) リズム楽譜の読み方と指揮の出し方を予習する。 (復習) アンサンブルでの音の合わせ方を振り返り、練習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・身のまわりの物で作る楽器 手作り楽器の製作と、 廃材を利用した音遊び のアイデア展開。	演習 グループワーク	音を出す楽しさを伝える 工夫ができる	(予習) 廃材などを用いた 手作り楽器のアイデアを 練る。 (復習) 即興リズム遊びの 展開案を具体化する	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
10	・指導案の作成法(講義) 音楽活動における「ねらい」 「内容」「環境構成」「予想さ れる子どもの姿」「教師・保 育者の援助」の書き方。	講義・演習	指導案の基本形式に従って 記述できる	(予習) 幼稚園教育要領・保 育所保育指針の「表現」項目 を確認する。 (復習) 指導案の基本形式 (ねらい・環境構成等)を 整理する。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 状況把握力 規律性
11	・指導案の作成(演習) 特定の年齢・題材を想定し、 グループまたは個人で具体的 な指導案を執筆する。	講義・演習 グループワーク フィードバック	活動案を理論的に構成 できる	(予習) 特定の年齢児を想定 した音楽活動の題材を選定し てくる。 (復習) 作成した指導案の 内容を客観的に見直す。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
12	・模擬保育・模擬授業に 向けた準備 ピアノ伴奏、使用する教材 の準備。	演習 グループワーク フィードバック	環境構成の準備ができる	(予習) 指導案に基づく ピアノ伴奏や教材の準備を 行う。 (復習) 指導者としての 言葉掛けや立ち居振る舞 いを練習する。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
13	・模擬保育・模擬授業の 実践(グループ内活動) 作成した指導案に基づき、 学生同士で指導者・子ども 役に分かれて実践する。	演習 グループワーク ディスカッション 発表	指導案に基づき実践・ 省察できる	(予習) 発表に備えて、 グループでの動きや役割を 最終確認する。 (復習) 指導案に基づき 実践した改善点をまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
14	・模擬保育/模擬授業の 実践(グループ間交流) 異なるグループの実践を見 聞し、相互評価を通して 指導上の留意点を確認する。	演習 グループワーク ディスカッション 発表	相互評価を通して改善 点を整理できる	(予習) 発表に備えて、 グループでの動きや役割を 最終確認する。 (復習) 相互評価で得た フィードバックを元に、 改善点をまとめる。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
15	・総括・振り返り 15回の学びを整理し、 教師・保育者の音楽的 素養の向上と、子どもの 主体性を育む援助を 考察する。	講義・演習 フィードバック	音楽活動を通じた援助 の在り方を考察する。	(予習) 15回の学びを 振り返り、模擬授業の 総括を準備する。 (復習) 全授業で習得 した技術と理論を整理し、 暗譜等を確認する。	45	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力